

駅と駐輪場

1) はじめに (概要)

ローカルな話ですが、福津市福間駅及び周辺・駅前広場が整備されることが、現実味を帯びてきました。他の都市でも同様の計画が提案され・実施されています。交通機関として最も信頼されている鉄道と、きめ細かいサービスが提供されるバス、手軽で機動性の高い自転車の結節点が駅です。これらの機能の中から駅の機能を高め、たくさんの人々に受け入れられる利用しやすい駐輪場をコスト面・環境面から提案したい。

2) 自転車と公共交通機関

駅から自宅までの移動時間として雪の降らない地域ではローコストでエコノミ的な通勤手段として、自転車の利用者は多い。福間の街も例外ではなく、現駅の南西側に広い駐車スペースが確保されている。

自転車を利用する者の視点

駐輪場が不便な場合はマナーに外れた駐輪が増加し、歩行者への迷惑をはじめ周辺環境の悪化につながる。自転車利用者は次のように考える。

- ・毎日通勤通学に使用するので駅直近に駐輪場がほしい。折角駅まで自転車を利用しても、自転車を下りてから歩く時間が長いのであれば意味がない。
- ・自転車が雨曝しにならない駐輪場が欲しい。乗る時にサドルの拭き取など面倒なものである。
- ・有人管理には拘らないが、安心・安全で盗難などを心配せずに利用できる駐輪場が欲しい。
- ・利用料金は安いほうが良いが、これはローコストな駐輪場の確保により実現できることだと思う。

自転車を利用しない者の視点。

今までの設備計画は利用者と行政側からの視点であって、施設を利用しない者の視点が欠けていたように思う。鉄道の駅を利用する者のうち、自転車を利用する者より徒歩で駅に来る人のほうが圧倒的に多い様に感じる。そして、設備を利用しない者は次のように考える。

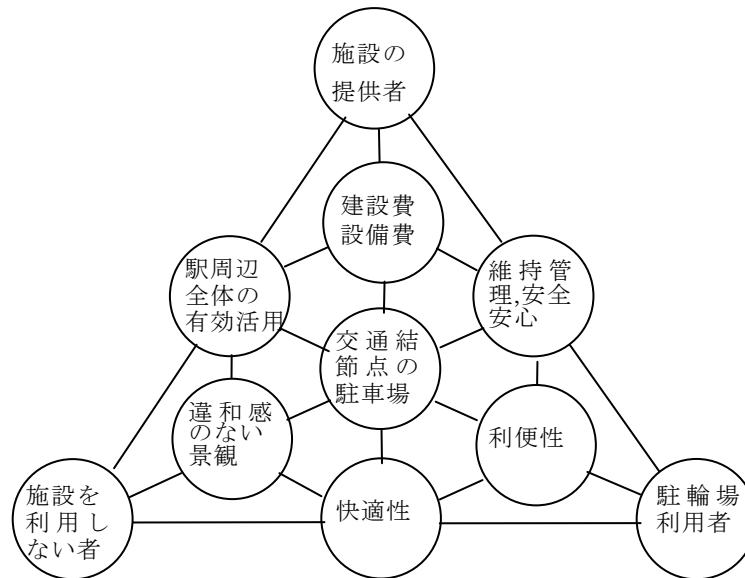
- ・もし駐輪場が無かったら駅前広場をもっと有効に使用できるのでは？タクシーベイも狭いし、不自然な運用で事故に結びつかなければよいが。バス停も狭く乗降客が居るときは車が数珠繋ぎになってしまう。あと少しのスペースで車の通行も楽になるのに。
- ・駐輪場の用地収容費と建設コストはどのくらい市の負担になっているのだろう？コスト削減と、住民負担の関係はどうなるのだろうか。

- ・ 夏の駐輪場は暑苦しい。地面からの照り返しとギラギラ輝く日の光を反射し、管理人も夏の強く暑い陽射しに晒され気の毒である。駅直近の一等地をもっと有効に使えないのだろうか。

施設を提供する側の視点

駅のように自転車の利用者が集中する場所では、駐輪場対策を施さなければ、無秩序な自転車の放置状態が発生し、駅周辺の景観が損なわれ、周辺環境が悪化する。市の予算を考えるとローコストで満足度の高い設備を用意したい。

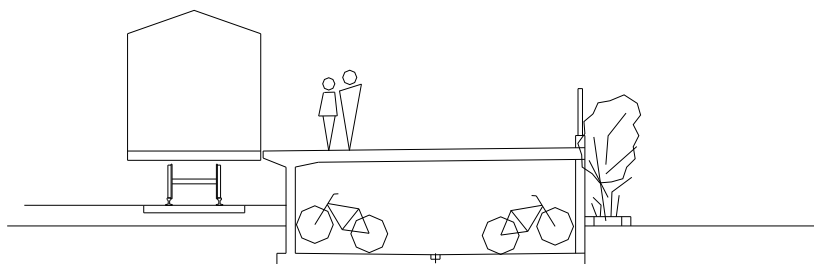
三者の相互関連



3) 駐輪場の提案

ホーム下の有効利用

有効活用されていないホーム下を利用することにより、駅周辺の設備配置は効率的で景観にも配慮されたものになる。イメージを以下に示す。



地表面から考えるとホームの高さは1.6~1.7m、つまり我々の背丈ほどもある。若干掘り下げることでホーム下は充分利用可能な空間に生まれ変わる。また、ホーム延長250mと仮定した場合、単純計算で1000台が収容可能であり、構造上の必要寸法を除いてもホーム1面当たり800台は可能と考える。

駐輪場の構造

壁に工夫を凝らし、閉鎖的な空間となるのを避け、開放的で機能性のある構造を提案したい。壁の機能には次の3点が考えられる。①柱と共に屋根や上層階(2階以上)の重さを支える構造部材。②強い風や陽射しから内部を守り、快適な空間を確保する。③物理的に内と外を分け、人・ものの出入りを制限する。

線路側の壁は、上記①と③が重要視され、維持管理、耐久性を考慮すると鉄筋コンクリート系の材料となる。これに対し、背面側は光、風、視線が通り、出来るだけ開放的なことが重要で、管理上無用な立ち入りを制限する柵程度の機能として、生垣を提案したい。

施設の建設

ホーム下の駐輪場の施設建設には、JRで建設し都市側に有料貸与する方法と、建設費を受益者負担の原則で分担する方法が考えられる。いずれの場合も、単独で建設するより大幅なコスト削減になると思われる。

JRのメリット

- ・ 利用客の利便性が上がり、集客力の強化に繋がる。
- ・ 賃貸契約が締結された場合、確実な収益が見込める。
- ・ 駐輪場の分だけ駅前広場を広く活用できる。

自治体のメリット

- ・ 用地収容費が不要。
- ・ 建設費が軽減されるか不要となり、使用料のみで運営が可能。
- ・ 進入路が限定され管理が容易になるため、管理人の負担が軽減される。

駐輪場利用者のメリット

- ・ 駅直近の駐輪場が利用できる。
- ・ 風雨に晒されないため、快適に利用できる。
- ・ 建設費が安価なため、安い使用料が期待できる。

駐輪場を利用しない者のメリット

- ・ 目障りな施設が生垣で囲まれた緑地となり、利用しやすい空間が提供される。

4) 最後に

現設備を駐輪場のために改修するのはコスト面のメリットはなく、施工上も厳しいものが要求され現実的ではない。しかし、駅設備の新設、改修などでホームを作り直すような場合は是非検討の対象として欲しい。

自治体とJRがタイアップすることでより高度な住民サービスがローコストで実現するのではないだろうか。